

保険代理店のBCP

愛知県代協が新春セミナー

愛知県代協(金子紀代志会長)は1月30日午後3時から、名古屋市中村区のキャッスルプラザで新春セミナーを開催し、会員ら約140名が出席した。



セミナーのもよう

講演のテーマは「今、保険代理店のBCPを考える」で、講師はエキスパート(株)エグゼクティブシニアリスクマネージャ・細川栄一氏。

「これまでの代理店は保険販売一辺倒、保険会社の経営資源に頼り過ぎるところがある。お客様のリスクマネジメントを行い適正にサポートしていくことが大切。リスクマネジメントとBCPは代理店にとって成長戦略の一つとしてこれからは考えていく必要がある」と代理店の方向性を示した。

また、今後、個人マーケットから法人マーケットへのシフトを示唆し、「法人のお客様(経営者)を守るために事業保険を販売し、財務と緊急対策を確立してBCPを提案することが自分たちの実になってくる」と述べた。

最後に「われわれ代理店はお客様にBCPを提案する前にまず自分たちが代理店のBCPを行うことが大事だ」と締めくくった。

奈良県代協 新春セミナーで唐招提寺を見学

奈良県代協(平尾武士会長)は1月27日午後1時半から新春セミナーを行った。当日はまず、奈良市西ノ京町にあるがんこ一徹長屋、墨の資料館で握り墨を体験した。墨の作り方などをDVDで交え説明を受けたあと、練った墨を握り手形をつけるといふ握り墨を参加者が個々に体験した。4か月乾燥させると墨になるという。続いて唐招提寺を拝観。同寺の第88世長老の西山明彦氏に境内を見学しながら同寺にまつわる話などを約2時間にわたって聞いた。



唐招提寺での記念撮影